

先づ數行に對し膺懲する

貫虎會

豊間發展に
意を注ぐ

遠藤只之助氏

同組合の事務

氏は實直と熱誠に依り同組合は麗な本を出したが藝妓の評判又益々發展するであらう、遠藤氏當を得てゐるゝで頗る花柳界には常に豊間村の開發に意を注ぎは人氣を受けてゐる。定冊卅錢

相互共益の湯本無盡

新口五百圓會員募集で加入者多數

新口五百圓會
募集で加入者多數

中斷してゐた不良銀行の膺懲も調査漸く進捗して既に事態の明白となつたものが數行あるの
で近く之に對して適當の措置を執る筈である云ふ、今回大藏省に依て摘發される銀行は全國に亘り四五行に上る由であつて其の行爲は銀行條例第八條の二即ち
大藏大臣は銀行の業務又は財産の狀況に依り必要ありと認むるときは其事業の停止を命じ其他必要な命令を爲すことを得
るに該當するものであつて遠から
金堀の簡易と利殖の安全とを以にし政府監督の指導を受け各取
て誇る湯本信用無盡株式會社は締役は連帶無限責任であるから
地方に於ける健實安全なる無盡確實である、目下新口五百圓會
會社として一頭地を抜き信用の員を募集中であるが、これは拂
増加と共に社礎強固となり現在込回數は六十三回にして一回の
では相互共益の金融機關として掛金が八圓五十錢、二十日目毎
加入者が増加してゐるが、同會に拂込み、二ヶ月に三回の掛金
社は専ら鯨岡誠祐氏が經營の衝であるから便宜に出來てゐる、
に當り豫期以上の成果を舉げて同會社が近來信用と人氣が増
ゐる同會社は其の邊の泡沫無盡たので今募集中の新口五百圓會
商會とか債券會社とは其選を異の加入者が意外に多いといふ。

十一

旬刊新聞も漸く健實一路に向つて進みつつあることは操觚界に取つて頼もしきことだ、磐城之實業は既に購讀本位に依つて社礎を固めて先鞭を着け、本社も亦本月より多少組織上に變更を加へ購讀本位に依りて行はれてゐるといふので一部清廉の日刊記者は不平をもらしてゐるものがある、寄附者の一部も亦まるで強請される様だとか滾すものもある、こよした處から催される宴會には何等の意義がない。

依りて漸々其準備が出来た。

同業警城商工時報も亦經營法に大刷新を加へ更に紙面の改良を斷行して本月より實現する段取りが出来たといふ。

日刊記者君に依りて時々開催

水戸のいはらきと福島、福毎の兩社の親密振りは側で見る目も羨やましい程だ。營業策から犬猿の嫌な仲になり易い當來新聞界の現状より見て誠に美しい事だ。

國遊説に先立ち
後藤子來平

一切の打合せを了し

佐川法學士一先づ歸阪
政治は奉仕なりとし、政治の倫事に決し佐川氏は一先歸阪した
理化を高調して新政黨樹立の最
前線に起つた子爵後藤新平氏は
去月廿日青山會館に於て第一聲

店頭の感
キザな男孝平君
丸龜の商法振り
伊關吳服店に
學ぶ點が多

伊關吳服店に
學ぶ點が多

後藤子は全國遊説を試みて已れの抱懷する主義主張を發表し其後に於て新政黨の結黨式を擧げる段取りにて政黨名の如きも目下考慮中である、而して全國遊説に先立ち平町に於て第一聲を擧ぐる手筈になり去る廿日平町出身法學士佐川潔氏は

後藤子 と會見平町に於て演説會開催に關し打合す所あり後藤子の都合つき次第來平する

店頭に入つて感ぜの好い悪いは建物や位置、採光、照明、窓飾りなどに支配されることは勿論であるが、要するに店頭で働く店員と主人の應待振りに依つて顧客の心をどうにもなる、中野呉服店の若主人孝平君は此の点になるとゼロである、商人といふ型を脱してズット偉張りたがる態度である、世間ではキザな男だと言つてゐる、孝平君が商人でなかつたなら先づ警察官には適材であつたかも知れない

記者が關西地方を旅行中福民覽會、七日は運動會の順序にて支局の高野味三郎君が平を去る舉行すると。

本縣金庫の
擔保品は
公社債券

点に於て蓋し忘れ得ぬ土地で
 なくてはならぬ、此の欄に於て
 同君の多幸を祈つて置かう。
 銀行と福島商業銀行とを分割し
 金庫問題は三行制となす百七縣
 不重産擔保に遇はる。

磐城之實業社の大和田與平氏は中野田藏氏に關する記事を斷筆するに當つて、中野氏の態度も紳士的であつたが大和田氏の態度其出處又實に公明正大であつた、正義感に立脚しての妥協、其處には物質を超越した精神美の光りのみが嚴として輝いてゐた。

て取扱ふことになつた事は既報の如くなるが縣ではこれが擔保物を嚴重にする必要上から之が種類を制定することになつたが本縣に關係あるもの左の如し。

福島縣債證書、福島市債證書、福島縣工銀行株式並に同社債、福島電燈株式會社社株券並に社債、東部電力株式會社株式券、並同社債、會津電力株式

落 成 式

五日記念日を以て
在不動産を擔保に徴收してゐる

は落成式、展覽會、六日は展となるであらう。

平君
問法振り
吳服店に
點が多
い、キザな男孝平君と言つて了へばそれまでであるが、これも性分で仕方が無いと理解が出来る顧客があればいいが、なか／＼それは面倒な事だ、孝平君の概念的批判はその位にして、店員諸君である、矢張り孝平君の外交振りに相酷似してゐるものだ、孝平君の影ではペロリと舌を出して主人などは更に心服してゐない様子を見せてゐる、これは店員を責むる前に主人孝平君の太いに自省一番すべきもの

だ、平町に於て如何にも商人的外交の圓満なのは伊關吳服店の主人である、店頭に起つても外出先きでも決して顧客に對する敬意と愛嬌は忘れた事が無い、伊關の主人は常に一つの信條を固く持してゐる「貸しがあつても無理催促はせず、客の懐ろの都合でいくらでも拂つて貰へば満足である」といふのである、こんな具合であるから店員迄頗る軟かみのある商法振りで一般客から非常に氣受けがよい、客足の多いのも無理が無い、中野吳服店も主人も伊關吳服店の商法振りに大いに參考とすべき点が多いにあると思ふ、獨り中野吳服店のやうに官僚臭く偉張つてゐた商人は須らく自省することが肝要である。

[illegible]

田島銀行	小濱實業	磐城實業	同百銀行	川俣銀行	須賀川銀行	郡山商業
五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二五〇〇
四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	一九〇〇	三二五〇	四二〇〇	二六〇〇

同 第一	同 第一	同 第二	會 津	都 山	同 第一	同 第一
電 氣	電 氣	電 力	電 氣	電 氣	電 氣	電 氣
新	新	新	新	新	新	新
四〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
五〇〇〇	六二〇〇	五二〇〇	五九三〇	四〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇

[illegible]

飯坂電車	日本絹燃重	福島紡績	日東紡績	靈山電氣	桑折電氣	同新	大沼電燈
三五〇〇	四五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	四三〇〇	二五〇〇	五〇〇〇
二〇〇〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	二〇〇〇	二四〇〇	一六〇〇	二〇〇〇

照魔鏡に映じた
怪しきもの、正本！

度である、世間ではキザな男
だと言つてゐる、孝平君が商
人でなかつたなら先づ警察官
には適材であつたかも知れない

人などには更に心服してゐな
い様子を見せてゐる、これは
店員を責むる前に主人孝平君
の太いに自省一番すべきもの

獨り中野呉服店ばかりでなく
中野呉服店のやうに官僚臭く
偉張つてゐたい商人は須らく
自省することが肝要である。

大沼電燈	同折電氣	桑折電氣	靈山電氣	日東紡績	福島羽二重	日本絹車	飯坂電機
五〇〇〇	三〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇
二六〇〇	一四〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇

必しも基礎鞏固を語る者に非ず

當局を
暖昧糊塗して圖々しくも對照
衣として發表するは、一面に於
胡魔化 一面に於て株主
は勿論預金者を愚弄するも甚し
きものとして斷じて此の儘看過
す可きでない、更に同行が斯く
如き未拂利息を少額に見積り
るは何故であるか、利益金の
減少するを恐れ未拂利息
決定を實際より少額に計上し殊
に利益金の増加を計りしもの
を斷じなければならぬまい、殊に
注意せざる可らざる点は平銀行
に比し預金總額に於て約三十萬
多し、磐銀が預金者に支拂ふ可
き未拂利息額が平銀の夫れに比

未經過割引料勘定と
雲隠れになつた六万圓

内容の彌縫と粉飾

次に對照表負債の部に未經過割か八千五十圓とは如何に無智素引料勘定が八千五拾圓廿九錢を人と雖も受取難き勘定ではある記載されてあるが、同行の手形まいか、平銀の同期間の未經過貨付百七十一萬壹千圓及割引手割引料は手形貸付金壹百九萬九形六拾五萬七千圓、合計二百三十三千圓に對して壹萬六千貳百圓即ち十六萬八千圓の

手形貸付に對して十五年を計上してある、手形貸付金額

ち盤銀の約倍額の未經過割引を計上してある、手形貸付金

は識者ならざるもの
奇異の 感に打たれざるを得まい、其間磐銀の常習手段として奇々怪々なる手練と筆法と弄して世人を瞞着せざる無きを疑はざるを得ないでは無い

決定と
た六万圓
彌縫と粉飾

八千五十圓とは如何に無智素朴と雖も受取難き勘定ではあるまいか、平銀の同期間の未經過引料は手形貸付金壹百九萬九圓に對して壹萬六千貳百圓即磐銀の約倍額の未經過割引料計上してある、手形貸付金額

【以下四面へ續く】

未拂利息に於て約四萬圓、未經過割引料に於て約二萬圓合計約六萬圓の損失が雲隠れとなつてゐる結論に到達せざるを得ないわづか對照表中一部の批判を試むに當り六萬圓の行衛不明の損失額を推定し得る位であるから如何に同行の内容が糊塗瀾縫に依り外面粉飾に依りて營まれて頗る良し。

平町有志主催の競馬會は先頃より準備中であつたが漸く準備成り来る十五、六日の兩日盤中ダランドに於て開催する事に決したが茨城より十五頭、双葉、相馬より二十頭の申込あり前人氣頗る良し。

本町研町
吉村製綿店
電話二五七番

和洋銅鐵
金物問屋
久
釜屋商店
磐城平
電話九一三九番
久の生命なり!!!
確實敏捷は

電話三三〇番

事實であつて、これは當然の事
 だ、立替金の請求をしたといふ
 ことは全く或る者が爲にせんが
 爲めの悪宣傳であつたことが解
 明された。

のとし六ヶ年後には一戸當り
 七、八四羽に達するものとす
 る。

關東北水産業者懇親會
 懇親會

大銀行を以て誇る銀行に驚
 可き罪業あり、大會社を以て

京都府岡崎北御所町
青木京染商店